

授業科目名： 教育心理学（初等）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：山田佳代子 担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
授業の到達目標及びテーマ 教育心理学の基礎的な理論や用語を理解する。そして、教育現場の様々な問題場面において、子どもの発達に沿った接し方ができるように、心理学的な知識の応用・技能の習得を目指す。			
授業の概要 教育心理学とは、教育に関係のある事象を心理学的に研究し、教育活動の効果を高めるために有効な心理的知見と技術を提供する学問である。その領域は多岐に渡っているが、ここでは、発達、学習・教授、人格・適応、測定・評価について、系統的に学んでいく。			
授業計画 第1回：教育心理学とはⅠ 教育心理学の概要について理解する。 第2回：教育心理学とはⅡ 教育心理学の研究領域や研究法について学ぶ。 第3回：発達Ⅰ 発達過程は、教育上で配慮が必要になる。発達とは何か、遺伝と環境、法則性などについて探る。 第4回：発達Ⅱ 主に、胎児期から青年期までの発達の概要を学ぶ。 第5回：学習と教授Ⅰ 心理学でいう「学習」の意味を理解する。 第6回：学習と教授Ⅱ 基本的な学習理論や動機付け、記憶などを学習する。 第7回：学級集団 学校における基本的な単位である学級集団について、理解を深める。 第8回：人格・適応Ⅰ パーソナリティとは何か、また、類型論についても学ぶ。 第9回：人格・適応Ⅱ 適応とは何か、また、適応規制について学ぶ。 第10回：カウンセリングⅠ カウンセリングについて、理論及び方法などについて学ぶ。 第11回：カウンセリングⅡ 学校カウンセリング及び心身症について理解を深める。 第12回：教育評価Ⅰ 教育評価とは何かについて理解した上で、評価の分類など学力の評価について学ぶ。 第13回：教育評価Ⅱ 心理検査及び教育統計について学ぶ。 第14回：障害児教育 障害児教育について、障害児の理解、指導法について学ぶ。 第15回：まとめ 16課題に取り組み理解を深める。 ※ 筆記試験・有			
テキスト 「教育心理学」 田中敏隆・山田佳代子編著 （大阪芸術大学発行）			
参考書・参考資料等 なし			
学生に対する評価：課題提出（4課題）40% 試験60%			